

公益財団法人 四万十公社
第 2 期 事 業 報 告 書

(平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)



4. 公益法人寄附制度の確立

公益法人寄付制度を確立し特定寄付金となるメニューを公表し、町民・事業者から信託する事業への寄付（資金・人材・物品）を求めてきました。

平成25年度は、「特定寄附金の募集に関わる募金目論見書」（第1期3回理事会議決）により募集を開始し、1件150万円の特定寄附金を受領しました。寄附者は、有限会社高幡コンクリートサービス様です。年度末の寄附であったため、使途については平成25年度の特定期寄附金目論見書を準用し、平成26年度事業の地域情報センターの人と暮らしに関する映像制作として、①オーラルヒストリー事業②暮らしの知恵100選事業③デジタルアーカイブ事業の3事業とします。

5. 「学ぶ組織」としてのマンパワーの充実・活動拠点施設の整備

第2期第1回評議員会では、公益法人移行後最初の理事選任を行い、現行理事に加えて、欠員となっていた理事にとお守人企業組合代表理事理事長の八木敏伸氏を新任しました。同臨時理事会では、理事長、副理事長、専務理事の重任を含む理事9人の新たな理事組織体制が整いました。

会社の組織体制においては、地域情報センターの運営に正職員2人、自主放送制作の体制づくり、お客様の声を聞く活動の実施、会館自主事業強化を目的として、正職員1人、臨時職員5人を採用し総務課、メディア技術課、コンテンツ制作課および地域情報センターの業務に対して各課長とセンター長を配置し、組織の統率力を高めました。

また、専門資格についても地域情報センターでは、文化財 IPM コーディネータ及び16mm映写機操作技術資格を取得。メディア技術課では、CATVエキスパート資格試験において専門科目の受信調査、施工、システム、ブロードバンドに合格しCATV総合監理技術者資格を取得しました。

中期経営計画に定める「学ぶ組織」としてのマンパワーの充実及び組織体制については、以上の取り組みを行いました。四万十公社の事務室を含めた活動拠点施設については、各事業の収支状況などの理由から、整備方針策定には至りませんでした。

6. 学校給食センターの派遣事業の廃止

理事会は、公益目的事業であるケーブル事業を本来業務として重点的に取り組むべきであることから、学校給食センター請負業務を断念し、平成25年度は派遣事業を継続し、請負事業者の決定に向けた側面支援を行いました。

学校給食センター調理業務の請負先が「四万十食材管理協同組合」に決定され、派遣職員のうち希望者全員を同組合に雇用していただくことになりました。

3年間の学校給食センター派遣事業では、公社が派遣制度による運用を行ったことから、役場の臨時職員での対応改善（非正規雇用の解消）、請負に向けた検討期間の確保をし「四万十食材管理協同組合」に業務を引き継ぎ請負業務に移行するまでの役割を果たすことができました。

《公益目的事業》

【ケーブル事業（公1）】

事業概要

四万十公社第2期は四万十ケーブルテレビが開局し5年目となり、当初から稼働している消耗の激しい通信機器の第1回目の機器更新の年でした。25年度は当初から役場企画課と機器の更新については安価で継続しやすい機器の保守案・長期機器更新計画案を提案し続けましたが、残念なことに機器更新には至りませんでした。この機器更新についての提案、協議等に対する回答は企画課からはほとんどなく、また機器は稼働しているのに機器更新に関する危機感も低く提案自体も忘れられ更新が遅れた事例もいくつかありました。公社と企画課との施設保守に対する考え方にも問題があったかと思われれます。

このケーブル施設は、町の人たちの日常生活で必要不可欠な施設です。「町は、放送事業者として運営また放送・通信機器を停止することなく施設を維持しなければならない」ここに責任を感じてもらい、町と公社が同じ考え方にならなくてはいけないと実感しました。

自主放送番組については、ニュースに力を入れラジコンヘリ（マルチコプター）を使って、町内の空撮を取り入れました。取材先や電話でもお客さまからの意見がいただける番組が少しずつではありますが、作れているかと思われれます。

障害全般に対しては、この5年間で培ってきた経験を生かしの確かな障害対応ができるようになりました。今後の課題としては、障害発生時から復旧までの保守会社との連携を更に強化し復旧時間短縮を目指していきます。

運営に関する規定等に関しても判断が難しい案件がまだまだ数多くあります。その一つに、ケーブルサービスの内容で休止や解約が1ヶ月単位で簡単にできることがあげられます。また問い合わせや受け付け業務、システム処理が必要以上に多いと感じています。今後は少しでも窓口業務を円滑にするため、他局の運営規定を参考にして取入れていきます。

1. 自主放送に関する事項

■コミュニティ「四万十うおっちゃんぐ」

第2期における「四万十うおっちゃんぐ」制作にあたっては、幅広い年代層に親しみを持ってもらえるように取材先の決定を行ったほか、今までは一度の撮影で終了していた取材業務を複数回行い、内容の濃い番組が制作出来ました。

特に人物を紹介する番組作りを精力的に行い、次の3つを軸に番組制作にあたりました。①スポーツクラブ（子ども、中高生、シニア）②文化活動人（地域で花を育てる人等）③挑戦人（マラソン大会への出場者等）

このほか、第1期から制作をおこなっている地域を紹介するコーナー「るるぶら」は概ね好評であることから、継続して制作を行い、合計10地区を紹介しました。また、同じく好評を得ている「まちかどチェック」では、ニュースや企画番組取材の合

間に、多くの町民に声かけを行い、町を歩く身近なカメラマンとして町内により浸透する事が出来ました。

技術面では、字幕の大きさやBGMの音量に注意し編集に取り掛かり、だれも見やすい番組作りが出来たほか、音楽著作権の権利処理を適正に行うべく番組制作毎に利用曲を記入するシートを作成するなど事務面でも工夫を加えました。

第2期放送回数・・・84番組（1番組 15分）

■ニュース「四万十放送室」

四万十放送室は、「ここ最近にあった出来事を伝える」をコンセプトに制作にあたり、町内のイベントや出来事を概ね余すことなく伝えることができました。

一方聞かれた声として「週1度の更新では、内容がタイムリーで無い」などがあり、年度末に協議を行った結果、第3期（平成26年度）は週2回更新で制作にあたることとなりました。

技術面では、NHKでの研修などに出席して、要領よく撮影する方法等をスタッフが習得し実践できました。第2期の前半では、殆ど挿入していなかった、音声を文字情報に変える字幕テロップを後半では、入れられるようになり、聴覚の不自由な方などから好評を頂きました。

■生中継・収録番組・特別番組

電源車の整備も概ね完了し、機材のリース契約も締結したことから、台地祭りの生放送を始め、元旦には興津峠から初日の出映像の完全生放送を行いました。

しかし、機器の利用開始が遅れたため、当初の目標には届かず、スポーツ大会の収録などは行えていません。

収録番組として取り組んだ「音楽祭」「谷干城ミュージカル」は、第1期時と同様に概ね好評をいただき、再放送の依頼もありました。また、第1期の時と比べ、主催関係者との連携も図れ、撮影技術が徐々にではあるが向上しました。

このほか、12月から1月にかけて多く行われる、マラソンや駅伝大会の様子はコンテンツ制作課以外の職員も動員して、民生カメラも駆使し、5台以上のカメラで収録して、多くの参加者が映るよう心がけた。また、各小中学校、高校の運動会、体育祭は余すことなく収録が出来、均等に放送が出来ました。

DVDダビングサービスについては、「どろんこ運動会」「よさこい四万夢多」の収録販売を行った。課題点として、放送で出す内容と販売内容に差をつけないと、高画質で録画出来る機器が安価に手に入り番組を録画できる事などから、クレームが発生する可能性があります。そのため特別番組の制作にあたっては、終了毎に反省会を行いました。

そして、インターネットサービスを活用して、運動会映像などは、自主放送での放送内容より長い時間の作品をネット加入者に楽しんでももらいました。

・行政情報番組

「行政情報番組」の制作は、役場が企画する内容に対し技術的支援を行い、月3本のレギュラー番組の制作、月1本の再放送を週更新で行いました。

町からのお知らせを伝える番組の進行は、地元の大学生にボランティアキャスターとして出演していただき、堅いイメージの行政放送を柔らかく演出することが出来ました。

行政の責務として伝えるべき情報についても、町職員の出演支援を行い、各担当職員が町民に向けて顔を出して説明するという形を基本にスムーズな番組制作が出来ました。

このほか、町民課とタイアップして取り組んだ、保育所紹介番組は保護者や地域の人を中心に人気で、第3期以降も継続して制作する番組となりました。

また、番組確認体制を行政とオンラインで出来るように整備し、制作毎に企画課の行政放送担当職員に確認してもらい、効率良い修正や書出しが行えました。

・文字放送

第2期における「文字放送」は、高知県須崎土木事務所四万十町事務所との連携を継続して行い、土木事務所職員による高頻度な道路情報更新が行えました。

このほか、他の公共的団体についても多くの情報や告知を流しており、良好な運用が出来たと考えています。

・データ放送

地域情報センターの情報発信ツールの1つとして、使用方法について検討し試験入力を行いました（情報センター職員）。主な入力内容は、四万十うおっちゃんぐ、四万十放送室の放送項目です。

・災害時緊急放送

災害時に力を発揮する、L字放送機器の定期的なメンテナンス（再起動・試験表示）に取り組み、災害に備える事ができた。また、電源車の定期的なメンテナンスや給油を行い、災害に備えました。

平成25年度から四万十町防災会議の委員に構成され事務局長が出席し、放送と通信を担う事業者の立場として意見を述べました。

■ 番組特派員・住民ディレクター

・番組特派員・住民ディレクター事業

視聴者参加型の番組として、また、インターネットを活用し取り組んできた「番組特派員」ですが、新たな参加者としては2名のみ参加という厳しい状況でしたが、一般視聴者からの投稿として「地域おこし協力隊」「興津ダイビングセンター」「十川中学校」からと多くの方に投稿を頂きました。

そして、新たな取り組みとして多くの方に手軽に投稿ができる環境づくりとして、スマートフォンにインストールして使用する撮影・編集アプリ「RoadMovie（本田技研工業株式会社）」や「Findays株式会社エムティーアイ）」を提供している各企業に対して番内使用許可を頂き、多くの視聴者から投稿を頂きました。その他に、番組や季刊誌オンラインを活用するとともに、フェイスブックやホームページを有効活用し広報してきました。こうした取り組みから番組特派員についての問い合わせも増えてきていますので、モバイルムービー枠の体制を整えて行きたいと思っています。

・住民ディレクターの育成

視聴者自らが取材や撮影、編集し1つの番組を制作していただく取り組みでした。

これまで番組特派員として活動されていた方の中の2名の方が取材・撮影・編集までの工程を行い完全な放送番組（完パケ）として投稿いただきました。

2. 通信に関する事項

・高速NETコース加入促進の取組

平成25年度目標値に挙げました新規インターネット加入500契約は、回線の冗長化がないため、OABJ-IP電話が導入でないことから、達成できませんでした。

結果、例年通りの自然増のみとなり、30Mと100Mへの新規加入は合計141件でした。

加入促進の取り組みとして①インターネット利活用番組の制作・放送、②高速インターネット加入者への無線LANルータ初期設定及び無料サポートの実施、③テレビへインターネット接続サポート は具体的な取り組みができませんでした。

9月に、インターネット意識調査を行い、400件訪問し、257件の加入者にご意見を伺うことができました。その調査の結果を基に今年度はインターネットの魅力を番組等で紹介して行きます。

○高速インターネットサービス加入件数一覧表

	24年度	25年度	増減件数
加入世帯数	7,298件	7,308件	10件増
30M	1,587件	1,719件	132件増
100M	184件	193件	9件増

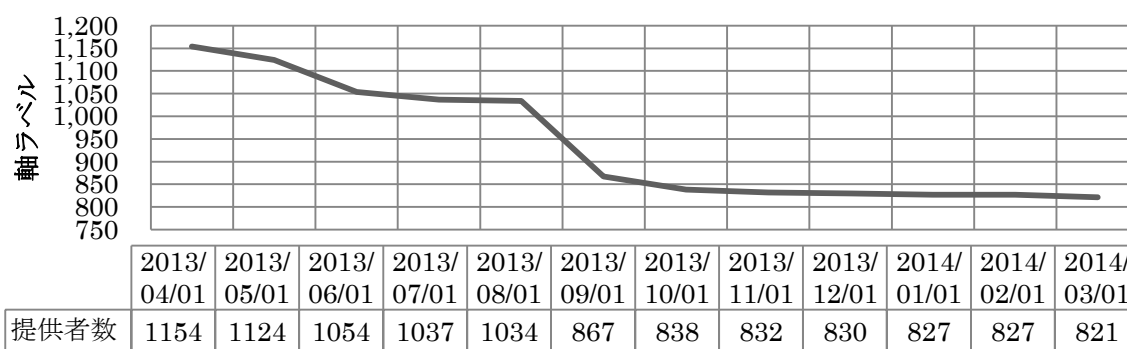
平成26年度3月31日現在

・低速128Kbのコース変更対策

平成25年度はサービスの申し込みはあるが、利用されていない低速インターネット128kbpsの契約者を対象に各戸訪問し、利用の状況・LANケーブル配線の有無を確認し、今後の契約についてコース変更・利用停止の案内を行い、5件のコースアップ・283件の利用停止の承諾をいただきました。

9月30日の精査終了時点で865件となっていた128kbps契約者は、平成26年3月31日付けで821件となっています。

○平成25年度128Kbps提供者数推移



平成26年3月31日現在

・公共施設にWi-Fiスポット設置

【Freespot】

平成24年度から引き続き四万十町内の飲食店、宿泊施設等にWi-Fiスポット(Freespot)導入を勧め、平成25年度設置目標件数である10店舗へ設置することができ、町内の設置施設は合計で19店舗となりました。

新規設置店舗は、窪川地区の3店舗、大正地区の5店舗、十和地区の1店舗と提供施設の拡充を図ることができました。

○設置店舗一覧表（19店舗：ゴシック体が平成25年度実績）

	【窪川地区】	【大正地区】	【十和地区】
1	窪川四万十会館	喫茶 橋	ふるさと交流センター
2	道の駅めぐり窪川	海洋堂ホビー館	清流四万十の里十和温泉
3	カフェ&キッチン空詩土	ウェル花夢	
4	ホテル松葉川温泉	道の駅四万十大正	
5	鉄板コールマン	農家民宿はこば	
6	カトルームゆあ	一の又渓谷温泉	
7	まるか旅館	農家民宿そうざき半島	
8		川遊び民宿 かわせみ	
9		農家民宿 里山	
10		居酒屋 一福	

平成26年3月31日現在

【無料Wi-Fiスポットサービス】

加入者への還元及び来町者にインターネットサービスを利用いただく為、平成25年10月「米こめフェスタ」の開催に合わせシンクレイヤ社のアクセスポイントを設置、イベント来場者に向け無料Wi-Fiサービスを提供しました。

その後平成26年度2月末から、四万十緑林公園に向け同社のアクセスポイントを設置し、無料Wi-Fiスポットを開放しています。

■ネット障害について

○通信障害一覧

No	障害発生日	障害場所	障害発生時の状況	障害発生原因
1	4月1日 ～ 4月17日	窪川センター内 GE-PON装置	・128kから高速30M又はその逆へコース変更した加入者の通信が接続不可 ・影響世帯：約15世帯（コース変更された数） ・通信障害：6件	2013年3月27・28日のミハル通信によるセンター機器GE-PON装置（加入者系通信用装置）のファームウェア更新作業による。
2	5月31日 ～ 6月1日	窪川センター内 Fortigate故障	DNSサーバー機器Fortigateの故障によるインターネット通信障害全停波。 影響世帯：町内全域	ウイルスチェック機器Fortigateの故障。
3	10月1日	窪川センター内 サーバー機	インターネットに接続できない加入者が発生。 影響世帯：窪川地区の一	前日に交換したウイルスチェック機器交換後の設定ミス（IPアドレス枯渇時に再設定したIPアドレスの反映

		器	部で数 10 件)	漏れによる)
4-1	10月10日 ～ 10月16日	メールサーバーシステム	@shimanto.tv のメールが利用不可。 影響世帯：町内全域 @shimanto.tv のメール利用者全世帯	加入者の@shimanto.tv メールアドレスからスパムメールが大量発信されメールサーバーに負荷がかかり機器動作が停止。他のプロバイダが shimanto.tv の IP アドレスをブロックされた為。
4-2	10月21日	CATV SMTP サーバ	@shimanto.tv から Gmail 等の他社 ISP 宛でのメール送信不可 影響世帯：町内全域 @shimanto.tv のメール利用者全世帯	4-1：一次障害のメール大量発報により外部メールサーバが CATV、SMTP サーバ(210.157.231.196)を拒否されたため【shimanto.tv】→【Gmail】等のアドレス宛てに送信不能状態に。
5	11月21日 ～ 11月28日	CATV SMTP サーバ	他の ISP (例：Yahoo メール、G メール、Hot メール、NTT 系列等のメール提供会社) へのメール送信不可。 影響世帯：町内全域 @shimanto.tv のメール利用者全世帯	ある加入者のメールアドレスから大量発報されたスパムメールで、他の ISP が四万十ケーブルテレビの IP アドレスをブロックされた為。

3. お客さまサービスに関する事項

・お客さまの声を聴く活動

お客さまの声を聴く活動としては、現状で必要な事項毎に分けて訪問調査を行いました。内容はさまざまですが、現状のサービスに必要な情報を入手できました。合計 3, 153 件を訪ねてお話が聴けました。

平成 25 年度 12 月には年に一度の加入状況確認の書類を全加入者に一斉送付し、ケーブルに対しての意見とアンケートを取りました (回収率 14.5%)。

○訪問調査一覧表

訪問調査内容及び実施期間	対象者	方法	件数
① 128k 精査 ONU 調査 渡り線などの点検・LAN ケーブルの有無を確認後精査対象者に休止を提案 【期間】1次：4月16日～7月3日 2次：8月13日～9月30日	128k 契約世帯 (一部集合住宅除く)	訪問 電話	対象件数 1,036 件 回答件数 1,036 件
② 集合住宅調査 ONU 設置台数・ラベルなどが実際こちらの把握と間違いないか確認 【期間】7月4日～8月1日	ONU の設置のある集合住宅全件	訪問	対象件数 193 棟 回答件数 193 棟

③ インターネットに関する調査 加入促進に先駆けて加入者の利用意 思や用途などを調査 【期間】9月9日～9月20日	あらかじめ訪問地域を決定し 調査（東川角・平串・黒石・大 正大奈路・浦越・里川・小野の 7地区） 契約合計数519件内約300件を ランダムに調査（ネット契約有 無に関わらず）	訪問	対象件数 400件 回答件数 257件
④ 有料番組アンケート 【期間】9月29日	会館イベント来場者	—	回答件数 12件
⑤ ケーブルテレビアンケート （主に有料番組について） 【期間】11月3日	イベント来場者 町内在住（加入・未加入関わら ず）	—	回答件数 218件
⑥ ケーブルテレビアンケート （主に有料番組について） 【期間】11月20日～12月16日	ファミリーチャンネル契約世 帯をランダムに調査。	訪問	対象件数 約500件 回答件数 379件
⑦ 年末ケーブルテレビアンケート 【期間】12月20日～1月15日	加入者全件 （公共施設・集合住宅空室を除 く）	郵送	対象件数 6,929件 回答件数 1,002件
⑧ デジアナ変換に関する意識調査 【期間】2月6日～2月12日	加入者のうちアナログテレビ 視聴世帯	訪問	対象件数 56件 回答件数 56件
お客様聞き取り調査合計（回答件数）			3,153件

・加入促進と加入案内の記録保全

各種申込みや問合せを含む受け付け時に、統一したフォーム（四万十CATV受付票）で内容を記録し、加入者とのトラブル回避、及び公社内での情報共有につなげる運用を実施しました。これにより過去の対応が明確化し加入者との実際トラブルを回避でき、来局予定を事前に把握していることで窓口での対応のスムーズ化につながりました。

・課金の現況と対応

利用料滞納の恐れがある加入者には電話連絡、督促状の送付等で支払いを促し、3か月滞納者に対する停波処置及び利用料金長期滞納者には、加入取消等の処置を講じ滞納整理事務を行いました。

26年3月末時点の3か月の滞納件数は1件、滞納金額は7,500円となっています。（滞納分は23年度発生分で、契約者の家族から再加入について数回問合せがありました。その際「過去の滞納分の精算が再加入の条件」と説明しており入金される可能性があるため、欠損処理を実施するか検討が必要です。）

・STBレンタル期間終了に関わる対策

この旨を加入者に対し告知する手段として、四万十町通信4月号（役場発行広報）に「レンタル期間随時終了」の案内を記載しました。

受付では、レンタル期間について個別に問い合わせがあった際や有料チャンネル解約の申請があった場合は、各機器のレンタル期間終了時期を確認し、加入者にあった説明案内を行いました。レンタル期間終了に伴い保証期間も終了するため、今期以降についても注意して案内していきます。

レンタル終了期間	H26. 4月末	H26. 5月末	H26. 6～3月末	計
26年度終了契約数	155契約	106契約	67契約	328契約

平成26年3月31日現在

・有料番組の再編成

有料チャンネルの各番組供給会社と今後の編成等について協議を進めるとともに、加入者に対してのアンケート調査の実施し、有料チャンネルのニーズ調査を行ってきました。

また、編成協議以外に加入者への還元を目的とし各番組供給会社協力のもとにグッズプレゼントを企画し実施しました。

その他、新たなチャンネル追加や変更を視野に入れた試験放送（チャンネル銀河）なども実施しました。

・契約変更受付時、チェックシートの運用

受付業務の統一化、加入者とのトラブル防止のために、窓口受付時に活用できる内容別チェックシートの骨組みを作成しました。新規加入時や移転工事の受付けに関しては、建物の状態やこれまでの契約状況により案内のパターンが多いため、まとめる作業に時間がかかっているのが現状です。

4. 保守管理に関する事項

・施設の保守と品質確保

加入者に安定した放送・通信サービスを提供するべく、前年度に続き公社及び保守契約業者で設備維持を行ってきました。

放送系に関しては日常業務として事務所内に加入者宅と同じ構成環境化で、地上波・BS波・有料チャンネルの視聴確認や各種測定機器で品質確認を行い、センター設備についても、窪川、大正、十和の各センターに設置されている機器の監視や品質端末による測定を実施し、10月には保守業者（機器メーカー）による総点検を行いました。その他、故障に即交換できる様、町の予算で予備機器を配備することが出来ました。これにより、伝送路事故を除いてセンター設備故障による重大事故がなく運用出来ました。

通信系については年度前に通信系保守会社に保守契約の継続を促しておりましたが、保守契約継続の処理が行われておらず、5月末に一部の機器故障による通信停止する事故が発生下にもかかわらず対応の遅れにより11時間にわたっての通信系のインターネットサービスが提供できない事態となりました。この事態を受けて契約内容の再度の見直しを行いました。

また、新たな問題も昨年度から発生しました。加入者側のPCがウイルス感染等によるものや、外部からによる迷惑メール（スパムメール）によるメール大量送信でサーバに不具合が発生するとともに大量送信者として各プロバイダから受信拒否される事態も起こりました。

一時的な対応として、加入者に対してメールアドレス変更やパスワード変更また、サーバの設定情報を変更し直し対策を行いました。

そして、町とも協議し迷惑メール（スパムメール）への対策する装置の設置また、迷惑メール（スパムメール）発生時にアカウント停止措置を公社側で取れる約款へと変更も行い対策しました。

その他、放送法に基づく報告業務及び電気通信事業法に基づく報告に関して、事業者である町に対して報告を行い所定の報告を行ってきました。しかしながら、期日に遅れる報告書もあったことから、今年度に関しては実質の運営者である公社が定期報告事項を把握すると共に町に対して提出時期を促し法令を遵守し放送・通信事業を継続していきます。

・伝送路保守の体制

平成24年度にスタッフ2名で伝送路の調査結果を基に、平成25年度4月から、伝送路監視システム上の電柱番号・クロージャ位置・幹線、分岐線の位置修正を行いました。（1,600修正箇所中、約1,500箇所修正（93.8%修正済））

平成25年度から伝送路保全を目的とした支障木伐採作業を町内3業者（窪川担当：新洋西山株式会社、大正担当：しまんと林産企業組合、十和担当とおわ守人企業組合）に委託しました。受信点設備等の幹線路の伐採が終了し、風や倒木など未然に対策をとることができました。しかし、課題としては重要な幹線路に対しての作業依頼や緊急時の対応手順、伝送路監視設備の図面とのマッピング作業ができなかったため、作業内容の把握と記録保全ができていません。今年度は3者で協議し、作業内容が把握できるよう記録保全が行える手順を確立して行きます。

■障害・支障木について

（1）障害対応工事について

項目	障害内容	対応区分	1期	2期	3期	計	合計
伝送路	保守・障害	業者発注	※14	8	3	26	※内保険適応件数 (1件)
		公社対応	0	0	0		
		PSSJ瑕疵	0	0	1		
	小動物	業者発注	1	3	1	5	
		公社対応	0	0	0		
ONU	障害・故障	業者発注	※1	0	1	111	※内保険適応件数 (39件)
		公社対応	※73	※26	※10		
		PSSJ瑕疵	0	0	0		
障害対応工事合計			89	37	15	142	142

※印のある箇所は、保険適応となった工事が含まれている

（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(2) 上記障害一覧の内保険適応件数

	被害発注件数			備 考
	業者発注	公社対応	計	
風水害（台風・落雷等）	1	38	39	ONU 交換 (1,409,088 円) 電柱補修工事 (272,000 円)
二次災害（火災等）	1	0	1	ONU 交換 (107,992 円)
人為的被害	0	0	0	
計	2	38	40	1,517,080 円

(平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

○ ケーブルネットワーク年度別加入状況一覧表

		加 入 者 件 数					計	備 考
区 分	年度		1 期	2 期	3 期			
基本サービス	H21		4,012	1,598	—	5,610		
	H22		3,986	1,731	1,289	7,006		
	H23		4,223	1,740	1,352	7,315		
	H24		4,207	1,736	1,35	7,298		
	H25		4,218	1,738	1,352	7,308		
ネット	H21	128K	552	220	5	777		
		30M	708	222	—	930		
		10M	96	30	—	126		
	H22	128K	502	214	511	1,227		
		30M	768	272	147	1,187		
		100M	90	32	13	135		
	H23	128K	531	202	480	1,213		
		30M	962	304	195	1,461		
		100M	116	39	18	173		
	H24	128K	507	197	463	1,167		
		30M	1032	343	212	1,587	128k 精査	
		100M	121	43	2	184		
	H25	128K	399	142	280	821		
		30M	1,117	373	229	1,719	128K 精査	
		100M	126	46	21	193		
CS有料放送 STB設置	H21		698	0	—	698		
	H22		705	272	534	1,511		
	H23		715	252	545	1,512		
	H24		683	247	52	1,455		
	H25		658	237	509	1,404		
IP電話	H21		119	49	—	168		
	H22		128	41	3	172		
	H23		123	42	4	169		
	H24		106	49	—	162	IP 精査済	
	H25		104	50	7	161		

※資料：顧客管理システム・加入者管理提供者数一覧（提供数）

○ケーブルネットワーク年度別ONU工事一覧表

区分	年度		1期	2期	3期	計	備考
工 事	H21	新規	54	3	7	64	
		移転	30	2	—	32	
		撤去	28	0	—	28	
	H22	新規	58	6	—	64	
		移転	34	5	—	39	
		撤去	21	2	—	23	
		ONU 交換	—	—	7	7	V→VD
	H23	新規	238	26	18	282	
		移転	41	8	9	58	
		撤去	35	9	7	51	
		ONU 交換	—	—	13	13	V→VD
	H24	新規	68	12	5	85	
		移転	41	13	15	69	
		撤去	53	9	8	70	
		ONU 交換	—	—	7	7	V→VD
	H25	新規	70	9	3	82	
		移転	42	11	7	60	
		撤去	48	7	8	63	
		ONU 交換	0	0	3	3	V→VD

【主な理由】

新規工事・・・家を新築した為・引越し先にONUがついていない為・ケーブルを利用したくなった為・工事現場の加入。

移転工事・・・引っ越しをした為・家を新築した為・家を増築した為。

撤去工事・・・町外への移転為・加入者の死亡の為・事業終了の為・工事現場の撤去の為・引越し先にONUがついていた為。

中期経営計画における4つの経営目標の一つに位置づけられた本事業の初年度として、センター長と学芸員の採用、基本方針の策定および平成26年度からの行動計画（3カ年）の策定を行いました。本年度は、地域情報データベースの構築作業など行動計画を踏まえた準備作業を中心に、文献や地図など地域情報の基礎資料収集や地域活動への参加などを行いました。

また、有限会社高幡コンクリートサービス様から特定寄付金として150万円を受領いたしました。地域情報センターの活動資金として、平成26年度事業に運用させていただきます。

■地域情報の収集、編纂、公開

・地域情報の収集

① 地域での取り組みへの参加

地域情報への足がかりとして、地域史の勉強会等に参加しました。

- ・古文書を読む会（5月～3月、10回）
- ・JA女性部歴史会（5月～3月、7回）
- ・下津井座談会（10/29）

② 文献、古地図、16ミリフィルム

四万十町立図書館、高知市立図書館および高知県立図書館にて基礎文献調査を行ったほか、明治以降の地図（高知県立図書館）や昭和期のニュース映画の映像の複写を入手しました。

③ 地域情報の編纂

収集した情報は、以下の目録や映像アーカイブに編纂しました。

- ・ケーブルテレビ自主制作番組の映像アーカイブ化（3月～、『四万十放送室』放送済み分435件）
- ・ケーブルテレビ自主制作番組のインデックス化（5月～、109件、番組内容を文字化し上記の映像アーカイブと連動させる予定）
- ・四万十統計書の制作（『四万十町データブック』試行版、2014年2月）
- ・四万十町関係webサイトリンク集作成（114件）
- ・四万十町関連番組インデックス作成（6月～、全チャンネル録画機の運用）
対象チャンネル：NHK総合、高知放送、テレビ高知、さんさんテレビ、愛媛朝日
地域ニュース及び情報番組を中心に全録画し内容を確認、インデックス化（230件、約180時間分）
- ・ニュース映画インデックス作成（『県民ニュース』、97件）
高知県視聴覚ライブラリー所蔵資料（16ミリフィルム）より四万十町関連ニュースを抽出しインデックス化し番組制作等へ活用
- ・秋祭り及び花取り踊りに関する調査
- ・『清流通信』（四万十川財団）町関連資料

④ 地域情報の公開

収集、編纂した地域情報の利活用として、インターネット上で検索可能な情報検索システムの構築に向けて作業を行いました。

また、ケーブルテレビでも収集、編纂した地域情報に関連する番組について企画・制作を行いました。

- ・地域情報検索システムの構築（9月～、H26.6月公開予定）
- ・ケーブルテレビ番組制作への参加（企画及び制作）
 - 平岡氏所蔵古文書（7/8、7/15、9/9 放送）
 - 予土線特集番組（10/28、10/31 放送）
 - 下津井座談会（11/18 放送）
- ・自主放送過去番組のネット配信（8月～、約50番組）

・その他

- ・議員向け iPad 講座への講師派遣（岡野伸治、議会事務局主催、2/13、2/27）
- ・文化財 IPM コーディネータ資格取得（武田円霞）
- ・16mm 映写機操作技術資格取得（武田円霞）
- ・土佐山内家宝資料館講習会受講（武田円霞）

《収益目的事業》

【会館・公園事業（収1）】

事業概要

指定管理に関する基本協定書に基づいて、窪川四万十会館（ホール・控室・多目的室）の利用拡大と事業内容の充実に努め、ホール、控室、多目的室、利用総数 16,455 人の利用者がありました。

窪川四万十会館及び四万十緑林公園の施設維持管理においては、利用者サイドに立った弾力的な運営及びサービスの向上に努め、芸術文化の創造活動の推進など積極的な活動を行うことにより地方文化の普及に努めてきました。また、自主文化事業として「三宅伸治&中村耕一」や「Biscotti」などホールを利用したコンサート事業のほか、徳島県上勝町の葉っぱビジネスを描いた「人生、いろどり」をはじめ、東日本大震災を題材とした「遺体 明日への十日間」など年間 5 回にわたる映画上映会を開催しました。自主事業全体では年間約 117 万円の収入があったものの、支出は約 230 万円となっており、差引では 113 万円支出が上回っています。しかし、本年度より会館のイベント情報を希望者へ郵送するサービスを開始したところ、イベント開催毎に希望者は着実に数を増やしており、現在会員数は 99 名となっています。本サービスは今後のリピーター数の増加につながるものと予想されることから、次年度以降も継続して行きます。

また、ケーブルテレビ部門と共同でホールでの催しを番組を通じて四万十町全域に発信しました。緑林公園については、定期巡視を実施し遊具の不具合等の早期発見に努め、来園者が安心して過ごせる環境づくりを行いました。

■四万十会館及び四万十緑林公園の管理運営について

（1）施設の使用の許可及び使用料の収受に関する事項

四万十会館及び四万十緑林公園の利用承認等業務及び使用料の収納業務を的確に行うとともに、利用者には適切・積極的なサービスに努めました。

施設の利用状況については、ホールでの大型催しのキャンセル等も少なく安定した 1 年であり、収入についても前年度とほぼ同様となっております。

四万十会館利用状況・収入一覧表については、別表のとおりです。（別表①）

（2）施設及び附属設備の維持管理に関する事項

開館後 19 年を経過し、老朽化に伴う修繕工事及び施設保守点検を実施しました。また利用者の利便向上のための工事を行いました。

○老朽化に伴う修繕及び工事

- ・ 11 月 2 日 公園野外ステージ床板張替工事（シルバー人材センター）
- ・ 3 月 10 日 点字ブロック洗浄及び再塗装（シルバー人材センター）
- ・ 3 月 12 日 ホール非常灯交換工事（榊芝電気工事店）
- ・ 3 月 25 日 冷温水発生機炉内洗浄（榊ダイダン）

○施設維持に伴う保守点検（四万十会館）

- ・ 4 月 1 日～1 年間 電気設備保守点検（電気保安協会）
- ・ 5 月 28 日 会館空調設備保守点検（ダイダン榊）
- ・ 7 月 17 日 舞台吊物保守点検（四国舞台）
- ・ 7 月 16 日 会館空調設備保守点検（山武計装）

- ・ 7月25日 舞台照明保守点検（四国舞台）
- ・ 10月25日 会館ピアノ保守点検及び調律（やました楽器）
- ・ 11月11日 舞台吊物保守点検（四国舞台）
- ・ 12月26日～27日 四万十会館全館清掃（株）ハクビ
- ・ 1月14日 会館空調設備保守点検（ダイダン株）
- ・ 3月27日 舞台吊物保守点検（四国舞台）

○施設維持に伴う管理業務及び保守点検（四万十緑林公園）

- ・ 4月1日～1年間 電気設備保守点検（電気保安協会）
- ・ 4月1日～1年間 緑林公園除草・樹木剪定等業務（シルバー人材）
- ・ 4月1日～1年間 浄化槽保守点検【3箇所】（有しまんとサービス）
- ・ 11月28日 会館浄化槽汚泥回収（有しまんとサービス）

○利便向上のための工事及び機器整備

- ・ 10月10日 舞台用スモークマシン更新（四国舞台）
- ・ 12月10日 会館西側階段手摺設置（シルバー人材センター）

（3）災害等に備えての消防設備点検等

災害等に備えて、消防用設備保守点検を行いました。また、南海地震対策として防災用品を購入しました。

○消防用設備保守点検及び修繕

- ・ 5月13日 消防設備保守点検（浜田ポンプ）
- ・ 7月31日 会館非常扉修繕（サワチカ）
- ・ 2月23日 防火対象物点検（浜田ポンプ）
- ・ 3月25日 多目的室排煙窓修繕（高知トーヨー住器）

○防災用品の購入

- ・ 03月27日 防災避難セット（30人分）購入
（毛布、ラジオ付懐中電灯、トイレ処理セット、応急用品等）

■ 自主文化事業及び町関連主催文化事業の実施について

町民の文化・教養の向上、振興に関する自主文化事業を行い、町関連の事業に音響・照明等の技術協力を行いました。内容については下記のとおりです。

- ・ 4月6日 三宅伸治&中村耕一コンサート（自主事業）
- ・ 4月16日 四万十町教員研修会（町教育研究所）
- ・ 6月29日 映画「人生、いろどり」鑑賞会（自主事業）
- ・ 7月5日 窪川中学校進路説明会（窪川中学校）
- ・ 7月14日 窪川中学校進路説明会（窪川中学校）
- ・ 7月21日 映画「かいけつゾロリだ・だ・だ・だいぼうけん」鑑賞会（自主事業）
- ・ 7月30日～31日 四万十町教育夏季研修会（町教育研究所）
- ・ 8月1日 【夏期大学】島田洋七講演会（生涯学習課）
- ・ 9月1日 映画「遺体 明日への十日間」鑑賞会（自主事業）
- ・ 9月8日 芸能発表会（生涯学習課）
- ・ 10月6日 映画「じんじん」鑑賞会（自主事業）
- ・ 10月8日 芸能大会（老人クラブ連合会・社会福祉協議会）
- ・ 10月13日 チャレンジ四万十（生涯学習課）

- ・ 11月 3日 米こめフェスタ（商工観光課）
- ・ 11月 8日 窪川ブロック小中連合音楽祭（音楽主任会）
- ・ 11月 9日 **台地まつり音響協力（商工観光課）**
- ・ 11月 14日 地域自治区シンポジウム（企画課）
- ・ 11月 16日 窪川中学校吹奏学部定期演奏会（窪川中学校）
- ・ 11月 18日 四万十町戦没者追悼式（健康福祉課）
- ・ 11月 28日 芸能大会（老人クラブ連合会・社会福祉協議会）
- ・ 12月 7日 **Biscotti コンサート（自主事業）**
- ・ 1月 2日 四万十町成人式（生涯学習課）
- ・ 1月 5日 四万十消防団出初式（四万十消防団）
- ・ 1月 12日 **映画 新春時代劇特集 山田洋二×藤沢周平（自主事業）**
- ・ 1月 22日 「夢・志」シンポジウム（学校教育課・窪川高校）
- ・ 3月 2日 四万十・足摺無限大チャレンジライド（商工観光課）
- ・ 3月 9日 四万十町社会福祉大会（社会福祉協議会）
- ・ 3月 26日 シルバー大学閉講式及びちびっこ舞踊（生涯学習課）

	平成 24 年度	平成 25 年度
四万十町	8 回	11 回
町関連団体	10 回	10 回
公社自主事業	3 回	7 回

■会館・公園部門とケーブル部門共同事業の実施について

○ ケーブル部門企画番組制作（会館ホール収録）

- ・ 11月 8日 窪川ブロック小中連合音楽祭（音楽主任会）：収録放送

○ 会館自主事業とケーブル部門共同番組制作

- ・ 11月 25日 自主事業【Biscotti コンサート】開催／告知番組作成

【学校給食事業（収2）】

平成23年3月に労働者派遣基本契約を結び、23年4月から特定労働者派遣事業所として労働者派遣事業を開始しました。

派遣事業としては3年目となり、主な業務は人事業務全般（採用から退職までの事務業務及び相談窓口等）ですが、25年度は派遣事業としては最終の年度と言う事もあり、派遣職員の移行手続きに向けての業務を行いました。新たな事業所が決まらないこともあり、移行に向けての協議、手続きは26年1月からとなりました。

移行に向けての話が出来ないため、派遣職員についてはとても不安な一年だったと思いますが、1月末には派遣職員を集め、新事業所説明会を教育委員会、公社事務局、新たに給食業務を行う四万十食材管理協同組合の合同で行いました。派遣職員の移行についても四万十食材管理協同組合が快く引き受けて下さり、職員面接後、希望者全員（正職員20名、臨時・パート職員10名計30名）を26年度より雇っていただくことになりました。

平成26年1月には、派遣職員からノロウイルスが検出され、窪川地区の学校給食を4日間（土日挟む）停止する事となりました。その間、調理作業はもとより調理室への入室も禁止のため、職員は学校給食センター内外の清掃業務に従事しました。

ノロウイルスが検出された事よっての食中毒等の発生はありませんでしたが、ノロウイルスの検出が給食停止につながった事もあり、教育委員会に陳謝しました。

■派遣職員の研修実績

- ・部門長ミーティング
- ・学校給食調理員研修会

■派遣事業及び派遣職員移行までの主な流れ

- 1月10日（金）・事務局業務内容打合せ（教育委員会・新組合・公社）
- 1月17日（金）・新組合認定『四万十食材管理協同組合』
- 1月31日（金）・四万十町学校給食調理業務委託に関する説明会
（教育委員会・四万十食材管理協同組合・公社事務局・派遣職員）
・派遣終了通知書提出（教育委員会）
- 2月15日（土）・職員面接（四万十食材管理協同組合）
- 2月20日（木）・職員面接（四万十食材管理協同組合）
- 2月25日（火）・解雇通知書郵送（派遣職員）
- 2月27日（木）・部門長会（公社事務局・部門長）
- 3月21日（金）・派遣職員送別会（公社事務局・派遣職員）
- 3月26日（水）・学校給食業務調理委託打合せ
（四万十食材管理協同組合・所長・各学校給食センター栄養教諭・派遣職員主任予定者）
- 3月31日（月）・派遣事業終了
派遣職員（パート職員含）：移行職員30名・退職職員2名